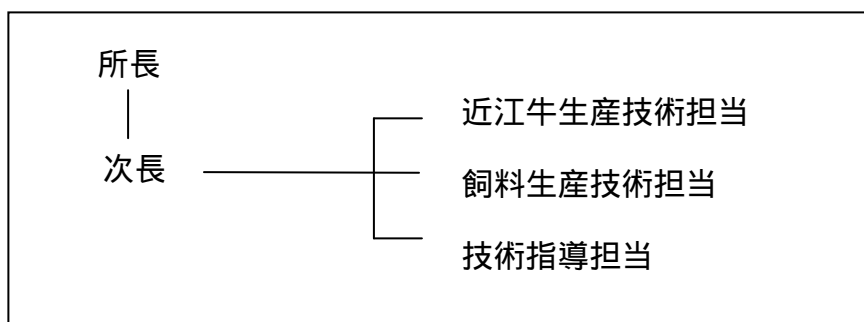


滋賀県畜産技術振興センターの概要

組織



用地

総面積 422,407 m² (うち飼料畑・牧草地 196,300 m²)

建物 本館ほか 62 棟 総床延面積 12,130 m²

施設等の配置図



飼養家畜

平成 21 年 6 月現在

乳用牛	32 頭
肉用牛	225 頭 (成雌牛 145 頭、後継育成雌牛 20 頭、子牛 60 頭)
鶏	1800 羽 (種鶏 1400 羽、種鶏用育成ほか 400 羽)
その他	ポニー4 頭、ミニチュアホース 1 頭、山羊 22 頭、羊 59 頭 ニホンカモシカ、ウサギ、クジャク、烏骨鶏、ガチョウなど

沿革

昭和 7 年 4 月	滋賀県種畜場を設置 (野洲郡野洲町三宅)
昭和 16 年 10 月	日野町に移転
昭和 22 年 6 月	滋賀県立有畜営農指導所と改称
昭和 30 年 9 月	滋賀県種畜場と改称
昭和 48 年 4 月	伊吹家畜増殖場(豚)を統合
昭和 60 年 4 月	種鶏場を統合、滋賀県畜産技術センターと改称
平成 6 年 4 月	畜産関係の機構改革に伴い、滋賀県畜産技術振興センターと改称 大家畜経営農家への技術指導部門を新設し、今津町に西部指導所を設置
平成 12 年 4 月	農業試験場、茶業指導所および農業大学校と再編統合 滋賀県農業総合センターが発足し、その構成施設「畜産技術振興センター」となる
平成 17 年 4 月	農業総合センターの組織改編に伴い、独立機関「滋賀県畜産技術振興センター」となる